

平成31年/令和元年中の火災・救急・救助件数について(速報値)

四日市市消防本部

平成31年1月1日～令和元年12月31日までの1年間に四日市市消防本部管内(四日市市、三重郡朝日町及び川越町)で発生した火災・救急・救助件数は次のとおりです。

- 火災発生件数 92件(昨年より -18件)
- 救急出動件数 15,585件(昨年より -325件)
- 救助出動件数 131件(昨年より +10件)

1 火災発生状況

(1) 火災発生概要

平成31年/令和元年中の火災は92件で、前年の110件と比較して18件の減少となりました。

平成31年/令和元年中の火災種別では、「建物」火災が60件で全体の(65.2%)で最も多くなりました。「建物」火災の内、住宅(共同住宅等を含む)が、21件で前年の28件と比較して7件の減少となりました。

次いで「その他」火災が20件(21.7%)、「車両」火災は、8件(8.7%)、「林野」火災は、3件(3.3%)、「船舶」火災は、1件(1.1%)となっています。

月別発生状況は、2月が12件と最も多く火災が発生し、次いで6月の11件となっています。一方、12月が3件と最も少なくなっています。

過去5年間の火災発生件数

種別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 /令和元年
建物	50	70	34	63	60
車両	15	9	11	18	8
船舶	0	0	0	0	1
林野	0	0	7	2	3
その他	20	26	41	27	20
計	85	105	93	110	92

※「その他」とは「枯草、ごみ集積場などの火災」等

(2) 出火原因

出火原因は、「放火」(放火の疑いを含む。以下同じ)が14件で、5年連続の第1位となっています。次いで、「たばこ」が9件、「たき火」が8件となっています。

過去5年間の主な火災原因

年別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 ／令和元年
1位	放火 19件	放火 15件	放火 17件	放火 17件	放火 14件
2位	たばこ 10件	たばこ 6件	たき火 13件	たばこ 10件	たばこ 9件
3位	溶接機・切断機 5件	こんろ 5件	たばこ 7件	たき火 7件	たき火 8件

(3) 火災による死者

火災による死者は、2名発生し、前年より3名の減少となっています。

(4) 火災による負傷者

火災による負傷者は、6名発生し、前年より8名の減少となっています。

(5) 火災による損害

火災による損害は、火災件数が18件減少していますが、大規模建築物による火災が発生したことにより、建物焼損床面積が前年と比較して大幅に増加することから、損害額についても前年より大幅に増加する見込みとなっています。

過去5年間の損害額 (千円)

年別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 ／令和元年
損害額	180,097	197,464	87,689	158,292	未確定

2 救急出動状況

平成31年／令和元年中の出動件数は15,585件で、これまで最も多かった前年と比較して325件の減少となりました。

事故種別では、「急病」が10,389件(66.7%)で最も多く、次いで「一般負傷」が2,126件(13.6%)、「交通事故」が1,259件(8.1%)、「転院搬送」が1,127件(7.2%)となっています。なお、「急病」は、昭和47年以降から毎年連続して事故種別の第1位となっています。

過去5年間の救急出動件数

種 別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 ／令和元年
急 病	9,477 (65.8)	9,422 (65.9)	9,377 (64.9)	10,655 (67.0)	10,389 (66.7)
交通事故	1,436 (10.0)	1,449 (10.1)	1,373 (9.5)	1,408 (8.8)	1,259 (8.1)
一般負傷	1,776 (12.3)	1,892 (13.2)	2,056 (14.2)	2,144 (13.5)	2,126 (13.6)
転院搬送	1,000 (6.9)	911 (6.4)	990 (6.9)	1,064 (6.7)	1,127 (7.2)
自損行為	122 (0.8)	97 (0.7)	125 (0.9)	94 (0.6)	124 (0.8)
労働災害	229 (1.6)	187 (1.3)	175 (1.2)	163 (1.0)	171 (1.1)
加 害	61 (0.4)	69 (0.5)	59 (0.4)	59 (0.4)	68 (0.4)
運動競技	124 (0.9)	96 (0.7)	114 (0.8)	101 (0.6)	124 (0.8)
その他	188 (1.3)	184 (1.2)	175 (1.2)	222 (1.4)	197 (1.3)
計	14,413	14,307	14,444	15,910	15,585

※ () 内の数字はその年の出動件数に占める比率(小数点第2位を四捨五入)

※「その他」とは「火災」「水難」「医師搬送」「資器材搬送」等

3 救助出動状況

平成31年／令和元年中の出動件数は131件で、前年と比較して10件の増加となりました。事故種別の内訳としては、「交通事故」が57件(43.5%)と最も多く、次いで「建物等による事故」が44件(33.6%)、「水難事故」が6件(4.6%)、「火災」が4件(3%)、「機械による事故」が1件(0.8%)となっています。

過去5年間の救助出動件数

種 別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 ／令和元年
交通事故	57	67	65	47	57
建物事故	21	30	36	33	44
水難事故	12	8	4	10	6
火 災	5	7	4	13	4
機械事故	7	2	2	1	1
そ の 他	22	15	29	17	19
計	124	129	140	121	131

※「その他」とは、河川敷等への転落、車内への閉じ込め等